

日本特許における特殊表記

2018年8月30日

アジア特許情報研究会：伊藤徹男

目 次

はじめに

1. 濁音、半濁音2バイト/4バイト文字混在
2. カタカナ、ひらがな混在文字
3. カタカナに見える漢字
4. 見た目が似ているカタカナ
5. 本来、カタカナ表記であるところがひらがな表記
6. 本来、漢字表記であるところがひらがな表記
7. その他、さまざまな異表記
8. 付録:撥音の検索その他

あとがき

はじめに

2003年の日本知的財産協会情報検索委員会夏季セミナーのノウハウ紹介で「濁音(゛)や半濁音(゜)記号のみが2バイトからなるワードを検索する場合には、いわゆる、「かな入力」では可能であるが、通常の「ローマ字入力」では検索できないことがあることを紹介した。

ここでは、「ローマ字入力」文字と「かな入力」文字が混在する用語については、他者から検索されないための故意が働いているのではないかということも指摘した。

その後、JPDS「化学特許の調査方法」セミナーテキストとして2006年～2012年に渡り、その内容を紹介してきたが、2011年のINFOPROで同様内容の発表がなされた。ここではセミナーテキストの引用もなく、セミナーテキストなどは先行文献にはならないのだ、と落胆したことがある。しかし、INFOPROにおける発表では、私の観点とは異なる、いわゆる検索漏れに対する警告もなされているのでその概略も紹介しておきたい。

些細な問題ではあるが、サーチャーにとって見過ごしがちなこのような点を改めて公に晒すことにより参考になればとまとめておくことにした。

問題の所在 その1

濁音、半濁音2バイト/4バイト文字混在公報

日本語で日本特許などを検索する際の入力方法として、「ローマ字入力」と「かな入力」がある。日本語ワープロが登場した当初は、かな入力もよく使われたが、最近ではほとんどローマ字入力のようなのである。

この2つの入力方法で記述された文字が異なる点として、濁音、半濁音の表記がある。ローマ字入力では、濁音(ガ)、半濁音(パ)も通常のひらがなや漢字と同様、1文字が2バイトであるが、かな入力では濁音記号(゛)、半濁音記号(゜)だけで2バイトとなるため、「カ゛」や「ハ゜」だけで4バイトを占める。このような4バイトで構成された文字は、4バイト入力して検索しないと抽出できないことになる。

1件の明細書のすべての濁音、半濁音文字が4バイト文字になっていれば問題はないが、要約のみ、クレームのみ、あるいはその明細書のキーとなる用語のみに4バイト濁音、半濁音文字が使われているところに問題がある。この場合には、2バイト濁音、半濁音文字と4バイト濁音、半濁音文字を使い分けて(意識して)検索しなければ検索漏れが生じる。

1. 濁音、半濁音の検索

JPO:IPDL

検索項目選択	検索キーワード	検索方式
公報全文(書誌を除く)	ホ [°] ッティング ^ゝ	OR
公報全文(書誌を除く)		
IPC		OR NOT
AND		
出願人/権利者		OR
AND		
公報発行日		OR
検索項目追加		

濁音、半濁音が2バイトで構成されたカナ(かな)

検索項目選択	NOT検索キーワード	検索方式
公報全文(書誌を除く)	ポッティング	OR
公報全文(書誌を除く)		
AND		
IPC		OR
AND		
出願人/権利者		OR
AND		
		OR

ローマ字入力のカナ

「ホ[°]」や「ク^ゝ」はそれぞれ『かな入力』で「ホ」と「[°]」「ク」と「^ゝ」と入力すれば検索も可能。

●表示形式 ●項目/レイアウト表示 ○PDF表示
一覧表示はヒット件数1000件以内の時に表示可能です。
ヒット件数 3件

濁音、半濁音2バイトの「ホ[°]ッティング^ゝ」はローマ字入力による「ポッティング」では検索できない。

JPDS「化学特許の調査方法」セミナーテキスト

濁音、半濁音の検索

JPO:IPDL

詳細な説明

特開平10-284646

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は回路基板上に搭載された半導体チップを封止して製造される半導体デバイス及びその製造方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】半導体チップを回路基板上に実装する場合、例えば図4に示すように、ワイボンディング又はリフチップボンディング等により半導体チップの bumps 電極2を回路基板3上の電極パッドに接続し、射出器4を用いたドロッピング法により液状封止材を一定量滴下して半導体チップを封止して半導体デバイスを製造するようになっている。また、特開平5-175260号公報によると図5に示す通り印刷用マスク18を回路基板11の上面に位置合わせしてスqueegee 19で液状封止材17を印刷用マスク18の開口部20内に印刷することで封止することを特徴とする。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、射出器4を用いたドロッピング法であると滴下量のコントロールが難しく一定の封止厚を有する封止樹脂を確保することが困難である。また、線布エリアは封止の広がる面積に等しく、ダム樹脂等により封止材の流れるのを防ぐ必要がある。また、特開平5-175260号公報のような印刷用マスクの開口部が狭くなる。また、上記の方法で製造された半導体デバイスは、封止樹脂の厚が不均一で大きく回路基板設計上の制約があった。

【0004】この発明は上記のような問題点を解決する半導体デバイスの製造方法を提供する。

【0005】また、封止樹脂により限られた必要な部分のみを封止することを目的とする。また、回路基板上に半導体チップが搭載されている回路基板の製造方法を提供する。

本発明においてキーとなるワードのみ「かな入力」で、一般的なワードは「ローマ字入力」で、というように使い分けられている(故意が存在する)ようにもとれる。このような公報は有効？印刷体で閲覧する限り見分けが難しい。

JPDS「化学特許の調査方法」セミナーテキスト

多くのデータベースでも同様に検索漏れを起こす

JP-NET

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は回路基板上に搭載された半導体チップを封止して製造される半導体デバイス及びその製造方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】半導体チップを回路基板上に実装する場合、例えば図4に示すようにダイボンディング又はフリップチップボンディング等により半導体チップ1の bumps 電極2を回路基板3上の電極パッドに接続し、射出器4を用いたボツティング法により液状封止材を一定量滴下して半導体チップを封止して半導体デバイスを製造するようにしている。また、特開平5-175260号公報によると図5に示す通り印刷用マスク18を回路基板11の上面に位置合わせして、スキージ19で液状封止材17を印刷用マスク18の開口部20内に印刷することで封止することを特徴とする。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、射出器4を用いたボツティング法があると滴下量のコントロールが難しく一定の封止厚を有する封止樹脂を確保することが困難である。また、塗布エリアは封止の広がる面積に等しく、ダム樹脂等により封止材の流れるのを防ぎ、不必要な部分まで封止してしまう。また、特開平5-175260号公報のような印刷による

Star Pat

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は回路基板上に搭載された半導体チップを封止して製造される半導体デバイス及びその製造方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】半導体チップを回路基板上に実装する場合、例えば図4に示すようにダイボンディング又はフリップチップボンディング等により半導体チップ1の bumps 電極2を回路基板3上の電極パッドに接続し、射出器4を用いたボツティング法により液状封止材を一定量滴下して半導体チップを封止して半導体デバイスを製造するようにしている。また、特開平5-175260号公報によると図5に示す通り印刷用マスク18を回路基板11の上面に位置合わせして、スキージ19で液状封止材17を印刷用マスク18の開口部20内に印刷することで封止することを特徴とする。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、射出器4を用いたボツティング法であると滴下量のコントロールが難しく一定の封止厚を有する封止樹脂を確保することが困難である。また、塗布エリアは封止の広がる面積に等しく、ダム樹脂等により封止材の流れるのを防ぎ、不必要な部分まで封止してしまう。また、特開平5-1

検索漏れを防ぐには、「ローマ字入力」による集合と「かな入力」による集合の和をとるしかない。

JPDS「化学特許の調査方法」セミナーテキスト

濁音、半濁音文字表記公報の問題点

もちろん、かな入力で「ホ[°]ッティング」と公報に記載することは全く問題もない。問題にするのは、同一公報でありながら、かな入力の「ホ[°]ッティング」とローマ字入力の「ポッティング」が存在することである。しかも、発明の要素であるキーワードのみが「かな入力による濁音、半濁音文字」となって、その他の一般的なカタカナ用語は通常のローマ字入力、というように使い分けられていることである。

2003年のJIPA特許情報検索委員会夏季セミナーで紹介した次に示すこの公報を実務で発見し、しかも競合他社からの出願であったので発明の有効性に疑問を持ったことを鮮明に覚えている。

IPDL(現在のJ-Platpat)だけでなく商用データベースで全文検索システムが稼働して間もない頃であったから、少し話題ともなった。当然のことながら、JIPA会員のみが参加する委員会(会員以外には情報を提供しない閉鎖的な研究会)での紹介であり、公の刊行物にもなっていない資料であるから、私の指摘も先行文献としての価値はないのも当然ではあるが。

全角文字でありながらIPDLやJP-NETなどの商用データベースでは、このようなかな入力文字が小さく表記されていたので、当初(JIPAの夏季セミナーテキストでは)、1/4角文字などと表現していたが、その後、「かな入力による濁音、半濁音4バイト文字」の問題と改めた。

テキスト系データベースで検索洩れ？

【請求項5】前記無機プライマーがシリコン系材料を含むこと
徴とする請求項3又は4に記載の樹脂用光触媒コートフィルム
【請求項6】前記シリコン系材料がエポキシ変性シリコンを含
とを特徴とする請求項5記載の樹脂用光触媒コートフィルム。
【請求項7】前記エポキシ変性シリコン系材料が γ -グリシド β -
ルキルトリアルコキシシランの加水分解縮合物を含むことを特徴と
る請求項6記載の樹脂用光触媒コートフィルム。

- カタカナが1/4角で表示されている。
- 濁音、半濁音以外のカタカナは全角カタカナで検索可。
- 濁音、半濁音の濁点「 \cdot 」、半濁点「 \cdot 」が全角1文字になっている。
「エポキシ」では検索できないが、「エホ \cdot キシ」(全角の半濁点使用)で検索できる。

①【要約】はカナ小文字で表記しているが、【特許請求の範囲】は通常の
濁音、半濁音を使用しているケース(このケースが多い)

②【要約】も【特許請求の範囲】もカナ小文字で表記されているケース。(上記例)

全文テキスト系データベースでは検索要注意

クレーム中にも濁音、半濁音2バイト文字がある例(特開2003-82165)

(57)【要約】

【課題】軽量且つ適度な硬度で配合物の寸法安定性が優れ、耐摩耗性や引裂き強度などの耐久性に優れた、ホース、ベルト、防振ゴムなどの工業用品及び紳士靴、婦人靴、スポーツシューズなどの履物底材に好適なゴム組成物を提供する。

【解決手段】(A)加硫可能なゴム50～95重量部、(B)還元粘度が0.1～4のシンジオタクティク1,2-**ホ-リフ-タシ-エン**(SPB)が5～50重量部、及び(A)+(B)=100重量部に対して、(C)無機補強剤が0～30重量部とが配合されたゴム組成物であって、JIS-K6253の引裂き強度が60N/mm以上であることを特徴とする靴底用ゴム組成物。

本公報は、要約、クレーム中から「ポリブタジエン」では検索できない。

【特許請求の範囲】

【請求項1】(A)加硫可能なゴム50～95重量部、(B)還元粘度が0.1～4のシンジオタクティク1,2-**ホ-リフ-タシ-エン**(SPB)が5～50重量部、及び(A)+(B)=100重量部に対して、(C)無機補強剤が0～30重量部とが配合されたゴム組成物であって、JIS-K6253の引裂き強度が60N/mm以上であることを特徴とする靴底用ゴム組成物。

濁音、半濁音が4バイト文字の存在

そこで、このような「かな入力」による公報がどのくらい存在するものかを調べた結果を次に示した。HTCというのは「発明の名称＋要約＋請求の範囲」からの検索であり、HTXというのは公報全文からの検索である。

私自身は、侵害予防調査、無効資料調査でもなければ大抵は全文からの検索を実施することなく、請求の範囲までの検索であるが、時として全文とIPC（または出願人）を掛け合わせた検索で網羅性を担保するぐらいであった。

カタカナ表記では、発明の名称～請求の範囲までの出現率がやや多い、という印象である。また、「かな入力」による公報がそこそこあることにも改めて驚かされる。

「ハッケージ」など「ハ°」はかな入力で「ジ」はローマ字入力である。1993年のデジタル公報以前のイメージ公報をスキャナなどで読み込んでデジタル化した場合の誤変換を除けば、これも恣意的な入力としか思えない。大変なご苦労なことである。

グラフトホ°リマー（濁音、半濁音のすべてが同じ表記） ……これなら納得

濁音、半濁音が4バイト文字の存在

JN0000 JPNET System - [検索式入力 コマンド検索]

メニュー コマンド一覧 式入力例

検索対象種別 A,U,T,TU,S,U9,B,Y,B9,Y9 検索対象期間 S58/01/01 ~ H23/06/30 印刷方法 全

一括検索 辞書 結果一覧 式印刷 検索対象 全式消去 式登録 式呼出 前式呼出 終了

式NO.	コマンド入力欄	特許	実案
#001	HTC=カ` +キ` +ク` +ケ` +コ`	1327	41
#002	HTC=サ` +シ` +ス` +セ` +ソ`	1190	38
#003	HTC=タ` +チ` +ツ` +テ` +ト`	1801	48
#004	HTC=ハ` +ヒ` +フ` +ヘ` +ホ`	1644	49
#005	HTC=ウ`	3	0
#006	HTC=ハ` +ヒ` +フ` +ヘ` +ホ`	1975	69
#007	HTX=カ` +キ` +ク` +ケ` +コ`	11021	120
#008	HTX=サ` +シ` +ス` +セ` +ソ`	12382	112
#009	HTX=タ` +チ` +ツ` +テ` +ト`	17528	205
#010	HTX=ハ` +ヒ` +フ` +ヘ` +ホ`	15859	142
#011	HTX=ハ` +ヒ` +フ` +ヘ` +ホ`	16680	162
#012	HTX=ウ`	299	2
#013	HTC=か` +き` +く` +け` +こ`	11	2
#014	HTC=さ` +し` +す` +せ` +そ`	4	0
#015	HTC=た` +ち` +つ` +て` +と`	31	2
#016	HTC=は` +ひ` +ふ` +へ` +ほ`	14	3
#017	HTC=う`	7	1
#018	HTX=か` +き` +く` +け` +こ`	2807	34
#019	HTX=さ` +し` +す` +せ` +そ`	4341	22
#020	HTX=た` +ち` +つ` +て` +と`	16615	45
#021	HTX=は` +ひ` +ふ` +へ` +ほ`	5634	34
#022	HTX=う`		

JP-NET

HTC:タイトル+要約+クレーム中
HTX:全文中

2011/07/02
現在

JPDS「化学特許の調査方法」セミナーテキスト

特殊な濁音・半濁音4バイト文字

ア`、イ`、ウ`、エ`、オ` ……出現頻度はさらに低いがこのような特殊な表記もある。主に誤記と考えられる。 ……誤記の訂正 2018/8/25検索

ア` 78件

ディスクメディア` (特開2008-071190)

レンズ`ア`タフ`タ (特開2003-195140) 発明の名称は「レンズアダプタ」
「ブロック本体」を「ア`ロック本体」と誤記したもの (特開2012-031715) など

イ` 115件

ヴィ`ニルシクロヘキセンモノオキサイド (特許3817573)

ウ` 2054件

参考文献

(特開2013-41421 入力文字列誤り検出装置)

濁音、半濁音2バイト/4バイト混在文字の解消

しかし、2018年8月時点でJ-PlatPatで再現しようと検証してみたが、これまでに触れた「濁音、半濁音2バイト/4バイト文字混在公報」の問題もシステムの的に解消されたようである。したがって、先に紹介したローマ字入力による「ポッティング」もかな入力による「ホッティング」も同じ検索結果を示した。

2015年までは他のローマ字入力文字とかな入力文字による検索結果の違いについては差を確認していたので、2015年3月にIPDLからJ-PlatPatに切り替えた時点でシステム改善されたのかもしれない。

問題の所在 その2

カタカナ・ひらがな混在文字公報

ここでいうカタカナ・ひらがな混在文字とは、公報中の1つのキーワードがカタカナとひらがなで構成されている、通常では考えられないような表記をしている公報を指す。

一般には化学用語(化合物)などに多いが、他の分野でもいくらか存在する。例えば、カリウムが「カリウム」と「リ」だけひらがなで表記されたり、ベンゼンでは「べ」だけがひらがなで表記されているものである。その他の例も一見するとひらがなが使われていることに気が付かないぐらいであるが、検索では通常に「カリウム」「ベンゼン」とカタカナのみでは検索できないものである。

そこでこのような表記例についてもどのぐらい存在するかについて調べてみた例を次に示す。

2. カタカナ・ひらがな混在文字

式NO.	コマンド入力欄	特許	実案
#023	HTX=カリ+キリ+クリ+ケリ+コリ	6355	42
#024	HTX=サリ+シリ+スリ+セリ+ソリ	9516	42
#025	HTX=タリ+チリ+ツリ+テリ+トリ	13022	85
#026	HTX=ハリ+ヒリ+フリ+ヘリ+ホリ	31376	653
#027	HTX=バリ+ビリ+ブリ+ベリ+ボリ	6756	72
#028	HTX=ヴリ	281	1
#029	HTX=アルカリ	1062662	5980
#030	HTX=アルカリ	247	2
#031	T=#30 not #29	7	1
#032	HTX=カリウム	797975	1880
#033	HTX=カリウム	14	0
#034	T=#33 not #32	5	0
#035	HTX=ベンゼン	805790	1010
#036	HTX=ベンゼン	1971	0
#037	T=#36 not #35	0	0
#038	HTX=ポリマ	1040968	8200
#039	HTX=ホ [*] リマ	527	5
#040	T=#39 not #38	89	5
#041	HTX=ホ [*] リマ	0	0
#042	HTX=ポリマ	42	0

アルカリの「リ」がひらがなの「り」となっているもの「アルカリ」では検索できない

「ポリマ」の「リ」だけがひらがなの「り」となっているもの

カタカナ・ひらがな混在文字の例

アリアルスルホニル 特開平7-258262

ステアリン酸亜鉛 特開2011-114331

アリアル 特表2010-522195

カリ キリ クリ ケリ コリ

臭素酸カリウム 特開2005-318882

低級アルキリ 特開平04-244061

アクリレイト 特開2015-214694、アクリル酸 特開2001-081928

インクリボン 特開2000-272214

シルカケリレ(シリカゲル?) 特開平03-020334

パリ ピリ プリ ペリ ポリ

ピリジニル 再表2006/049304

ポリエチレンテレフタレート 特開2003-001773

ポリペプチド 特開平08-205871

リポソーム 特開2018-076356

カタカナ・ひらがな混在文字の例

カタカナの「リ」

ポリリンチレンナフタレート 特開平11-043591 (ポリエチレンナフタレート)

リン酸亜鉛 特表平10-510319

リン光 特開2015-182451

ピロリン酸ナトリウム 特開2014-079713

リン青銅 再表2013/151100

ひらがなの「へ」がカタカナの「へ(べ、ぺ)」として使われている。

ベンゼン環 特開2015-191208

ベンゾフェノン 特表2017-519040

シクロヘキシレン 特開2018-044144

カタカナ・ひらがな混在文字の例

ビニルとルエン 特表2017-515939

あみのカルボン酸 特表平11-511767

あるきるエステル 特開2003-043724

ポリまー 特表平08-500154 ポリまー材

有機ポリマー 特開2010-212580

エチレングリコールモノメチルエーテル 特表2015-510911

ものめちるエーテル 特表2004-516283

・・・ちょっと許せないね。

(単純な誤記)

エリアりおける ⇒ エリアにおける

樹脂硬化物出アリ ⇒ 樹脂硬化物であり

3. カタカナに見える漢字が使われている例

見た目は同じカタカナと漢字・・・入力ミス(誤記)で済まされるか。

漢数字の「二」がカタカナの「ニ」として
アクリロニトリル 特開2017-186382
ニッケルコバルト 特開2012-175093
フェニル 特開2016-094475
窒化アルミニウム 特開2018-107154

カタカナの「ニ」が漢数字の「二」として
二酸化ケイ素 特開2017-155061
二硫化炭素 特開2016-141670
リン酸二水素 特開2018-010738

漢字の「カ」(ちから)がカタカナの「カ」として
ソルビン酸カリウム 特表2014-506229
カリウム炭酸塩 特開2002-126528

カタカナに見える漢字が使われている例

漢字の「八」がカタカナの「ハ」として

ハロゲン原子 特開2011-093965

ハロゲンランプ 特開2008-216444

漢字の「エ」がカタカナの「エ」として

カーボン酸エチルダイエステル 特開2007-226178

酢酸エチル 特開2000-242033

エポキシ 特開平05-198909

漢字の「タ」がカタカナの「タ」として

エタノール 特開2009-076619

メタノール 特開2006-144013

タイムコード 特開2006-337380

漢字の「千」がカタカナの「チ」として

メキルビニルエーテル 特開2002-148366

カタカナに見える漢字が使われている例

漢字の「ロ」がカタカナの「ロ」として

エピクロルヒドリン 特開2017-191765

エピクロロヒドリン 特開平10-158529

クロロビスフェノール 特開2018-037526

ブロモフェネチルアルコール 特開2016-105701

ジアザビシクロ 特開2018-111829

アクリロニトリル 特開平10-158529

最初のロだけが漢字のロになっている例

ジクロロメチル基 特開2006-313303

クロロプレングム 特開2004-038208

漢字の「ト」(ボク)がカタカナの「ト」として

トルエンシルホン酸 特開平05-194374

ベント 特開2018-126934

排出ポート 特開2018-020924

4. 見た目が似ているカタカナ

ンがソになっている

ステアリソ酸 特開2004-083596

スチアリソ酸 特開平06-056659(正しくはステアリン酸)

リソ酸緩衝液 特開平07-151758

リソ酸二水素ナトリウム 特表平07-505875

ピラゾリソ 特開平08-146841

ビニルピリジソ 特開平09-000918

ソガンになっている

フォトリングラフィー 特開2015-199246

インシアナート 特開2005-264125

インシアナト基 特開2001-190655

インシアネート基 特開2008-308517

見た目が似ているカタカナ

シがツになっている

油圧シツリンダ 特開平06-165603

油圧ツリンダ 特開2005-056838

ゾがジになっている

ピラジロン誘導体 特表2005-502763

ピラジリン誘導体 特開2003-101031

誤記と言えなくもない。

5. 本来、カタカナ表記であるところがひらがな表記

一般的にはカタカナで表記されるものがひらがなで表記されたり、ひらがなで表記されるものがカタカナで表記されたりしている例である。

これも当然、間違いではないし、悪意はないものと思われるが、発明者にその真意を糺したいものである。

「あるかり」 特開2000-313995

請求項中に「あるかり水溶液」「アルカリ水溶液」

「あるきるエステル」 特開2003-043724

「あみの基」 特開平08-209200

「あみの基、カルボキシル基、ペプチド結合」

「あみの-ぷろぴる」 特表2005-536475

「R6はi-プロピルであり; および R7はn-あみの-ぷろぴるである」

ぽりえちれん 特開平11-226586

ぽりまー 特開平07-278502

特表平11-501966 (コ)ぽりまー(請求項中に「コポリマー」の表記もあり)

6. 本来、漢字表記であるところがひらがな表記

光ファイバー ⇒ ひかりファイバー(特開2019-004470)

光回線 ⇒ ひかり回線(特許5914614)

固定する ⇒ こていする(特開2002-303738)

配置する ⇒ はいちする(特開平11-096583)

検出する ⇒ けんしゅつする(特開2003-061312)

反応 ⇒ はんのう(特表2011-514845)

化合物 ⇒ かごうぶつ(再表2004/009581)

成形 ⇒ せいけいしてなる成形体(特開2002-155194)

受信 ⇒ じゅしん(特表2002-506584)

状態 ⇒ じょうたい(特開2005-289504)

7. その他、さまざまな異表記

想定される範囲内の異表記(撥音のように使われているもの)

請求項比較

リチウムイオン(19388件)

リチュームイオン(24件)

リチュウムイオン(15件)

ビニルとヴィニル

ポリヴィニルアルコール 特開2006-221847

酢酸ヴィニル 特表2007-530169

デジタルをデヂタルと表記するものもある。

ペルフルオロとパーフルオル 英語の日本語表記の問題

誤記？

「ビ° ⇒ ヒ」

ビニルヒリジン 特開平05-155946

ヒロリドン環 特開平06-271784

ビニル-2-ヒロリドン 特開2015-105274

「ビ° ⇒ ヒ」

塩化ビニル樹脂 特開平11-062201

ポリビニルアルコール 特表平07-508688

光ディスク 特開2003-173544

8. 付録:撥音の検索その他(メモとして)

パテントマップガイダンスでは区別する

「フィルム」で検索

● 検索結果 ヒット件数 75 件(1-50件目を表示中)

・表示種別を変更する場合は表示種別を選択後、サブグループまたはHIDをクリックしてください。

表示種別 一覧表示 ターゲット表示 同階層表示

- ・ [A01G7/00,601@B](#) ・補光のための光反射装置(マルチフィルムは13/00)
- ・ [A01M29/00,102](#) ・反射, 色, 特定の透過性又は反射性を有するフィルムによるもの
- ・ [B02C18/44](#) ・可塑物の粉碎に特に適したもの, 例, 映画フィルム
- ・ [B29C53/10](#) ・ブローされた管状フィルムの, 例, ひだづけ[4]
- ・ [B29C55/28](#) ・ブローされた管状フィルムの, 例, インフレーションによるもの[4]
- ・ [B29D7/00](#) 板状物品の製造, 例, フィルムまたはシート, の製造(24/00が)
- ・ [B29D7/01](#) ・フィルムまたはシート[4]
- ・ [B29L7:00](#) 板状物品, 例, フィルムまたはシート(24/00が優先)[4]
- ・ [B32B](#) 積層体, すなわち平らなまたは平らでない形状, 例, 細胞状または
- ・ [B41B15/32](#) ・フィルム処理機構
- ・ [B41B17/16](#) ・順次文字を写真に撮るためにフィルムをその平面内で移動させ
- ・ [B41B21/36](#) ・フィルムを行方向へ段階的に供給するもの

両方を「or検索」できない

キーワード

入力例: 農業、機械* 金属、土壌*(水+液状)

AND

サーチ範囲
(分類コード、テーマコード)

入力例: A01B, 2B+5B001, A01N25+B01B

「フィルム」で検索

● 検索結果 ヒット件数 232 件(1-50件目を表示中)

・表示種別を変更する場合は表示種別を選択後、サブグループまたはHIDをクリックしてください。

表示種別 一覧表示 ターゲット表示 同階層表示

- ・ [A01C7/08,310@T](#) マルチイングフィルム敷設機付き播種機(マルチングフィル
- ・ [A01G9/14@H](#) ・フィルム, シートの定着
- ・ [A01G9/14@P](#) ・フィルム, シート定着具の取付
- ・ [A01G9/14@S](#) ・フィルム, シートの組成・構造
- ・ [A01G9/24@J](#) ・断熱保温フィルムの開閉
- ・ [A23L1/00@B](#) ・シート, フィルム又はチューブ状成形物(例, シート状に)
- ・ [A61B1/04,360@D](#) フィルム関連装置(フィルムパッケージ→G03C3/00,
- ・ [A61B5/02,310@L](#) ・高分子圧電フィルム
- ・ [A61B6/00,300@T](#) ・輝尽性蛍光体フィルム, 同力セット
- ・ [A61B6/00,300@W](#) ・X線フィルム・カセット, 増感紙
- ・ [A61B6/00,303@B](#) ・撮像管出力信号を用いるものX線フィルムを撮像するもの
- ・ [A61B6/00,303@J](#) ・輝尽性蛍光体フィルムを用いるもの一般

● 検索結果 ヒット件数 0 件

IPDL(J-PlatPat)では区別しない

検索項目選択	検索キーワード
要約+ 請求の範囲	フィルム
AND	
公報全文(書誌を除く)	
AND	
IPC	
AND	
出願人/権利者	
AND	
公報発行日	
検索項目追加	

一覧表示はヒット件数1000件以内の時に表示可能です。

ヒット件数 **215476件**

検索

検索項目選択	検索キーワード
要約+ 請求の範囲	フィルム フィルム
AND	
公報全文(書誌を除く)	
AND	
IPC	
AND	
出願人/権利者	
AND	
公報発行日	
検索項目追加	

一覧表示はヒット件数1000件以内の時に表示可能です。

ヒット件数 **215476件**

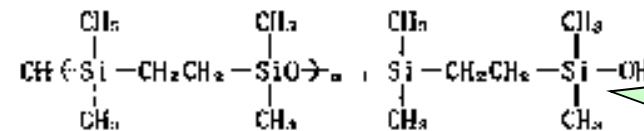
検索

IPDLでは、以前は異表記として検索する必要があったが、今ではシステム改善され、どちらで検索しても同じ結果となる。

テキスト系DBでは検索要注意

【構成】 本発明は、下記式、

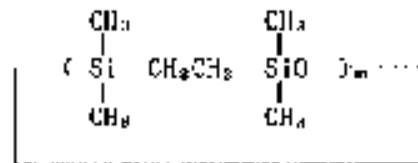
【化1】



明細書イメージ図中の用語、化学記号などは検索できない。

〔式中、nは2～2500の整数を示す〕で表される線状ポリシルエチレンシロキサン又は下記式、

【化2】



〔式中、mは2以上の整数を示す〕で表される環状シルエチレンシロキサンを、熱分解用触媒とともに、縦型遠心薄膜蒸発器に供給し、該蒸発器の蒸発面で薄膜を形成させ、この状態で熱分解及び分解生成物の蒸発分離を行うことにより、下記式、

PATOLIS複合語フリーキーワード

かつてPATOLISは日本特許が検索できる代表的な商用データベースであった。最近の若い調査担当者には、そのようなデータベースが存在したことは先輩サーチャーからの思い出として聞かされるぐらいであろう。

PATOLISは外国特許文献調査ツールであるDWPIやCapusと同様、人手による独自抄録作成、出願人の名寄せなどと共に次に示すような「複合語フリーキーワード」なども提供して化学分野の調査担当者には重宝されたものであった。

テキスト系データベースの表記ゆれの補正

複合語フリーキーワード一覧表は、『化合物編』と『高分子編』があります。

複合語フリーキーワード	被統一語	
エチレンプロピレン共重合	エチレンプロピレン共重合体	プロピレン/エチレン共重合体
	エチレンプロピレン系共重合体	プロピレン-エチレンブロック共重合体
	エチレンプロピレン(ター)ポリマ	プロピレン-エチレン共重合体
	エチレンプロピレンコポリマ	プロピレンエチレンコポリマ
	エチレンプロピレンターポリマ	プロピレンエチレンブロックコポリマ
	エチレンプロピレンブロックコポリマ	プロピレンエチレンブロック共重合
	エチレンプロピレンブロック共重合	プロピレンエチレンランダムコポリマ
	エチレンプロピレンポリマ	プロピレンエチレンランダム共重合
	エチレンプロピレンランダムコポリマ	プロピレンエチレン共重合
	エチレンプロピレンランダム共重合	ポリエチレンプロピレン
	エチレンプロピレン共重合	ポリエチレンポリプロピレン
	エチレンプロピレン系コポリマ	ポリエチレンプロピレン
	エチレンプロピレン系ブロックコポリマ	ポリエチレンポリプロピレン
	エチレンプロピレン系ブロック共重合体	ポリプロピレン-ポリエチレン
	エチレンプロピレン系共重合	ポリプロピレンエチレン
	エチレンプロピレン樹脂	ポリプロピレンポリエチレン
	エチレンプロピレン共重合体	エチレンプロピレン(ター)ポリマ
	エチレンプロピレン共重合体	エチレンプロピレン共重合体
エチレンプロピレンゴム	EPRゴム	エチレンプロピレン共重合体
	EPR系ゴム	エチレンプロピレン共重合体
	EPゴム	エチレンプロピレン共重合体
	EPラバ	エチレンプロピレン共重合体
	EP系ラバ	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレンゴム	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレンゴム	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレンエラストマ	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレンゴム	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレン共重合ゴム	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレン弾性体	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレンエラストマ	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレンコポリマーゴム	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレンコポリマーエラストマ	エチレンプロピレン系共重合体
	エチレンプロピレンゴム	エチレンプロピレン共重合体
	エチレンプロピレンターポリマーゴム	エチレンプロピレン共重合体

テキスト系データベースでは
 公報に表記されている
 あらゆる表記を考慮して
 検索することが要求される。
 (エチレン and プロピレン)
 ではノイズ大

JPDS「化学特許の調査方法」セミナーテキスト

PATOLIS複合語フリーキーワード
 (表のカタカナ文字を半角で表現
 しているがいずれも全角)

参考文献

- 1) 春遍雀來: 包括的な日本人名異表記データベース(日中韓辭典研究所)
<http://www.kanji.org/cjk/samples/jnamevarj.htm>
- 2) 春遍雀來: 日中韓各語の知的情報検索に於ける辞書を用いた異表記処理
http://www.kanji.org/cjk/reference/cjkvar_j.doc
- 3) 春遍雀來: 知的情報検索を主眼とした日本語異表記データベースの研究開発
<http://home.jeita.or.jp/is/committee/tech-std/knowledge/old/PDF/2003/Halpern1.pdf>
- 4) 甲田彰: 科学技術文献検索システムにおける異表記対応について
http://www.dl.slis.tsukuba.ac.jp/DLjournal/No_31/2-kouda/2-kouda.html
- 5) 藤井敦、田中るみ子: 特許検索における化学物質名の異表記同定に向けた考察(JAPIO YEARBOOK2010, 182)
http://www.japio.or.jp/00yearbook/files/2010book/10_3_05.pdf
- 6) 特開2013-41421 入力文字列誤り検出装置
特開2012-256197 表記ゆれ検出装置
特開2011-186976 表記ゆれ解析装置
特開2009-128968 表記ゆれ解析装置
特開2006-053866 カタカナ文字列の表記ゆれの検出方法
特開平11-338863 未知名詞および表記ゆれカタカナ語自動収集

INFOPRO2011における発表資料について

本稿で紹介した少し特殊な公報表記と同様の内容が2011年のINFOPROで紹介されたので(「電子公報全文検索時代の特許調査の注意点」)その内容について若干触れておきたい。

「濁音、半濁音2バイト/4バイト文字混在」については「濁音、半濁音が分離したカナ文字」と表現されているが、ほぼ同じ内容を紹介している。

本稿で紹介している内容以外の指摘としては、

- ①カタカナ長音「ー」がよこ罫線で表記されている例、
ロール、シートであるべきところ、「ロール」、「シート」
- ②「キーワード中に改行／スペース」がある場合には正しく検索できない例
「シリコ(改行)
ーンゴム」

(特表2001-511883)などは、「シリコーンゴム」で検索できないことを、また、「タン グステン」などとキーワード中にスペースがあるもの(特開2002-289144)もあり、これは「タングステン」では検索できないことも示している。

③誤記の出現頻度や正しい表記との重複を除いた「差分」についても紹介されているので参考になる。

④特許請求の範囲を省略した公報

など有用な紹介もある。

あとがき

平成4年以前のイメージ公報をOCRで読み取り、デジタル化されたものについては、本稿で紹介したような例も変換ミスとして有りうるが、平成5年以降の電子化出願以降の公報においても「誤記」のような特殊な例がないではないことを紹介した。

いずれも数少ないレアケースかもしれないが、無効化資料調査、権利侵害調査のように1件の抽出漏れも許されない場合には問題となるのみで、先行技術調査や技術動向調査などでは無視してもいい問題でもある。

しかし、日本知的財産協会などのような著名な団体におけるセミナー資料やデータベースベンダーなどが開催するセミナーテキスト、あるいは特定の研究会内だけで共有されるような資料は、出願特許や雑誌論文、学会発表資料のように先行文献としては認知されないことに改めて気づかされた。

特定の会員のみしか参加できないような場でのプレゼン資料は、如何にすぐれた研究内容であっても公知とはなりえないのである。

アジア特許情報研究会のポリシーの1つとして「研究内容は外部に公表する」ことを挙げているのはそのような所以である。

本稿の締めくくり

本稿で紹介した内容のほとんどは2006年～2012年にJPDSの「化学分野の特許調査」セミナーテキストで紹介してきたものであるが、ほぼ同様の内容のものがINFOPRO2011で紹介された。発表直後にはJIPAを含めた関係者から「伊藤さん、セミナーの内容をINFOPROで発表するなんてひどい(新規性がないのでは)」と叱責の言葉やメールをいただいた。INFOPROでの発表内容は事前に私には知らされていなかったし、私のセミナー資料の引用もなかったことから、私も驚いた。

しかし、知財情報関係の重鎮によるとセミナーやINFOPROを含めた学会での発表内容は関係者のみにしか公開されていない、いわゆる「グレー文献」とされ、先行文献としても難しいものがあるそうである。

10年以上にわたりJIPA(日本知的財産協会)のセミナー講師も務めてきたが、たとえばそのテキストや紹介内容もJIPAと言えども同様だそうである。

したがって、重複した内容が紹介されたとしても仕方ない、ということらしい。

上記のような理由から、遅まきながら、たとえば検索ノウハウであろうと、誰にでも参照していただけるようにということで、4年ほど前からアジア特許情報研究会のサイトおよび旧「知財部調査室」のサイトに「検索Tips」として、セミナーの内容や検索ノウハウのWEB公開を始めた。

http://patentsearch.punyu.jp/asia/Search_Tips.html